

水環境ニュースレター by RECWET 第15号 2022.10.19(水)

シンポジウム主催者としてタイ事情に目を光らせてきたのですが、今月1日よりタイへの入国規制が緩和されました。先日、本センターの片山浩之教授・橋本崇史准教授・Tippawan Singhopon 研究員が水質調査等を実施するためチェンマイとバンコクに出張しましたが、この状況が続くことを期待したいです。さて今月も、水に関するニュースをご紹介しますね。

【東南アジア水環境国際シンポジウム SEAW-13 の準備状況】12月13～15日@バンコク
8月のご報告後、着々と準備が整いつつあります。

100 件を超える発表申し込みがあり、暫定プログラムも公開しました。基調講演は下記 4 名（講演予定順）をお迎えします。また、タイの行政機関である Pollution Control Department の特別セッションが設けられることになりました。

- Chongrak Polprasert 教授（タマサート大学、AIT 名誉教授）
- Evariste Kouassi-Komlan 氏（UNICEF モンゴル代表）
- 藤原拓教授（京都大学）
- 珠坪一晁教授（国立環境研究所/RECWET）

途上国の若手研究者・学生から投稿されたアブストラクトを国際プログラム委員により審査し、"Excellent Abstract Award with international travel support"を授与する 6 名が内定しました。受賞者には Ohgaki Scholarship Fund* よりバンコクへの国際線航空券と宿泊が支援されます。

シンポジウムで最も優れた発表を行った若手研究者らに、"Award for Asian Young Professional on Water Research"が授与されます。副賞として Ohgaki Scholarship Fund*よりメダル・記念盾が授与されます。

10月4日に参加登録が始まりました。11月20日(日)まで参加登録を受け付けております(発表者は別途早期に締め切りあり)。ご参加をぜひともお待ちしております。

http://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/asian_water2022/Registration.html

【令和4年度第1回運営委員会の開催】

10月24日に運営委員の先生方にお集まりいただき、水環境工学研究センター運営委員会を開催します。令和3年度決算、令和4年度予算執行状況の他、東南アジア水環境国際シンポジウムの準備状況、各部門の活動予定などについてご報告申し上げ、ご審議いただく予定です。

【部門別研究内容の更新】

本年4月からの新メンバー体制にあわせ、センターの部門別研究内容についても、水環境工学研究センターHPにて更新中です。ぜひお立ち寄りください。

<http://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/divisions.html>

RECWET メンバーの活動

【第12回CSJ化学フェスタ2022特別企画】10月19～20日

加藤隆史教授（水質制御技術・素材部門）が領域代表である新学術領域研究「水圏機能材料」が、第12回CSJ化学フェスタ2022（10月19日～20日@タワーホール船堀）にて特別企画を開催しています。特別企画（1）では材料中に存在する水そのものを様々な角度から観察した研究を、特別企画（2）では水との調和により発現される材料機能を、それぞれ紹介します。

<https://www.aquatic-functional-materials.org/images/13.pdf>

【工学系研究科プレスリリース：東京2020オリンピック・パラリンピック選手村の下水中新型コロナウイルス量と陽性者数との関連を解明 ～下水疫学調査と個人検査は相互補完的、集団を対象とした検査戦略としての普及に期待～】8月23日

片山浩之教授（水質制御技術・素材部門）らの研究グループが発表した東京2020オリンピック・パラリンピック選手村でのCOVID-19の下水疫学調査に関する論文がJAMA Network Open（医学の専門誌）に掲載され、その内容が工学系研究科よりプレスリリースされました。

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/press/pr2022-08-23-001>

これは2月4日に工学系研究科から発表されたプレスリリースの続編となります。

https://www.t.u-tokyo.ac.jp/press/foe/press/setnws_202202041503592997394260.html

RECWET 関連講座の活動（下水道システムイノベーション）

【下水処理水を利用した実験】10月14日

下水道システムイノベーション研究室では、下水処理水を利用したウナギの陸上養殖と水耕栽培の実験を2022年5月に開始し、その詳細をHPに公開しました。

<https://www.envssil.t.u-tokyo.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/10/Unagi-and-hydroponics-experimentsKT.pdf>

【横浜市下水道事業中期経営計画 2022】 9 月 16 日

当講座の滝沢智教授が委員長、加藤裕之特任准教授が委員を務める「横浜市下水道事業中期経営計画 2022」が、その策定を進めるにあたり公開意見募集を行いました（募集期間：9 月 20 日～10 月 19 日）。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/keiei/chukikeiei/gesuityuuki2022.html>

【野菜の価格高騰を救うのは…NHK 番組】 9 月 6 日

加藤裕之特任准教授が NHK おはよう日本で、肥料高騰に対応するため下水汚泥の農業利用についてコメントしました。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220906/k10013803961000.html>

イベント・プロジェクトのご紹介

【ノーベル・プライズ・ダイアログ「Water Matters 水から考える持続可能な未来」】 10 月 23 日

ノーベル財団傘下組織として広報部門を担うノーベル・プライズ・アウトリーチ AB と日本学術振興会が主催する一般向けの公開シンポジウムです。

東京での 5 回目の開催となる今回は「水」がテーマとなっており、天野浩教授（名古屋大学）をはじめとして各国から 6 名のノーベル賞受賞者の登壇が決定しています。ノーベル賞受賞者が水をどう語るのか!?大変楽しみな企画となっています。当センター連携教員沖大幹教授（総長特別参与/社会基盤）、当センター協力教員小熊久美子准教授（都市工学）も登壇されます。

<https://npd-tokyo.jsps.go.jp/ja/>

日時：2022 年 10 月 23 日(日) 10-17 時(日本時間)

現地参加申込（500 名）は締め切られていますが、当サイトで会場の様子のライブ配信が予定されています。

【若手の研究紹介】

水圏ニュースレターNo.14(Oct.2022)「若手の研究紹介」コラムにて、加藤隆史教授（水質制御技術・素材部門）指導のもと学会で受賞するなど、水処理膜の分野で活躍している濱口和馬さん（化学生命 D3）の研究内容が紹介されました。

<https://www.aquatic-functional-materials.org/images/14.pdf>

また、9 月 7 日付の日本下水道新聞「下水道と私—学生からの声—」コラムに、下水道システムイノベーション研究室の尾方瑛さん（都市工学 4 年）が研究内容を投稿しました。

<https://www.envssil.t.u-tokyo.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/09/b57c5ee10db62fa8a4bbb63d54338972-1.pdf>

最後に

最後までご覧いただき誠にありがとうございました。

水環境等に関するイベントや、プロジェクトをご紹介ください。また、本ニュースレターにて学内研究者・関係者にお知らせしたい情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

次回の配信は2022年12月を予定しております。「水」のセンターなので、配信日は水曜日です！

▼当ニュースレターのバックナンバー

<http://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/details/newsletter.html>

工学系研究科 附属水環境工学研究センター（RECWET）

連絡先：古正裕紀 sec-recwet@env.t.u-tokyo.ac.jp